

1 スクールミッション

「自主的であること、合理的であること、積極的であること、協調的であること」を教育目標とし、あらゆる教育活動を通じて失敗体験と成功体験を重ねることで、自己実現を図れる生徒、バランスの取れた人間性をそなえ、自ら考えて行動し、志を高くもって将来国際社会に貢献できる生徒を育成します。

2 教育目標

「自主であること・合理的であること・積極的であること・協調的であること」を教育目標として定める。

- 主体的に全力で最後まで物事に取り組み、いかなる時代においても、生き抜くことのできる人間力を育成する。
- 知・徳・体のバランスのとれた人間性を身に付け、世界平和と国際社会の発展に貢献する人材を育成する。

3 スクールポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

本校で生徒が身に付ける能力や素養として、以下の6つを掲げる。

- ①主体的に学ぶ力（基礎・基本の定着、語学力の向上、自学自習の確立）
- ②課題解決能力（課題を発見・分析し、科学的・合理的に考え、その課題を処理・解決する）
- ③判断する力（情報の収集、精査を行い、物事を見極め、適切に判断する）
- ④発信力（他者の考えや異なる文化を理解し、自分の考えを表現、発信する）
- ⑤行動する力（自分の意志により行動し、決めたことを最後までやり抜く）
- ⑥協働する力（目標を共有し、互いに尊重し合い、力を合わせて活動する）

(2) カリキュラム・ポリシー

- ①文武両道を教育活動の柱とし、学習、学校行事、部活動等、全てにおいて生徒が主体的に取り組む活動を推進する。
- ②教科指導、進路指導を充実させ、志の高い資質や能力を養い、第一目標を実現させる。
- ③英語力向上（英語検定等の積極的受験、使える英語力の伸長）、海外語学研修（オーストラリア・希望者）、外国語コースの英語合宿、アメリカやカナダ、ニュージーランドなど海外の高校生と国際交流等を行う。(Tokyo Metropolitan Global Education Network School Premier 20 (GE-NET20) 指定校)
- ④部活動を通じて、生涯にわたって心身の健康を保持・増進し、困難を乗り越える力を身に付ける。

(3) アドミッション・ポリシー

スクールミッションに基づき、広い視野に立って考え行動できる学力の養成を基礎に、グローバル社会に貢献できる人間の育成を目指す。高い目標の実現に向けてチャレンジする気概を有し、主体的に行動しようとする生徒の入学を対象とする。

- ①本校の教育目標「自主的であること・合理的であること・積極的であること・協調的であること」をよく理解し、達成できる生徒。
- ②本校普通科及び外国語コースへの志望の意志が強く、その動機・理由が明確である生徒。
- ③学習と部活動・学校行事を両立させ、主体的かつ積極的に学校生活を送る生徒。
- ④英語の基礎学力が身に付いており、外国語及び世界の課題に対する興味・関心が高い生徒
- ⑤大学進学への意欲が高く、将来国際社会のリーダーとして貢献・活躍しようとする意欲のある生徒。

4 中期目標と方策

① 学校経営

学年、分掌、教科、委員会、経営企画室等の各組織がそれぞれ責任を果たし、連絡調整を図り連携し、教職員の力を結集して円滑な学校運営を推進する。そのために、会議の在り方として、報告・連絡に終わることがないように、具体策を検討する内容とし、PDCAサイクルの徹底を図る。

② 学習指導

・学習指導を充実させ、生徒一人ひとりの学力を確実に向上させ、進路指導に連動させる。そのために、各教科会を中心とした組織的な教科指導体制を構築する。また、生徒が主体的に学習に取り組むよう、自習を推奨するとともに、すき間学習の奨励、学習支援サービスを活用するなど自学自習の習慣を身に付けさせる。

・教職員は各教科で授業力向上のための自己研鑽に努力するとともに、組織的に向上を図っていく。

③ 進路指導

継続的なキャリア教育の視点から、進路実現を図る組織体制を強化し、3年間を見据えた指導を計画的に行う。生徒の第一希望の実現を目指すために、授業・講習・各種勉強会の定着を図るとともに、大学進学では、国公立・早慶上理の合格者数の増加を目指す。

④ 生活指導

・規範意識を高め、互いの人格や生命を尊重する態度を養うとともに、素直で謙虚な心を持ち、人間性豊かな人物を育成する。自らの行動、ふるまいについて継続的に指導する。

・自律的生活習慣を確立し、文武両道に集中できる生徒を育成する。

⑤ 特別活動・部活動

・三大行事(体育祭、文化祭、合唱大会)の生徒による自律的運営化や部活動のさらなる活性化を図り、生徒の満足度を高めて積極的に活動する態度を養い、社会に貢献する人を育成する。

・関東大会出場及び東京都ベスト32以上に相当する部活動5部以上を目指す。

⑥ 健康づくり

・体育授業や体育的行事、部活動を通じて体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯を通じて心身ともに健康で豊かな人生を送るために、基礎的・基本的知識や技能を習得し、スポーツを継続的に実践する態度を育む。そのために東京都体力テストすべての項目で平均値を目指す。

・体罰根絶、いじめ防止、自殺未然防止等、安心・安全な学校を構築する。

・教育相談委員会を立ち上げるとともに、特別支援コーディネーター及び教育相談コーディネーターを中心に教職員、スクールカウンセラーが連携し、組織的な相談体制を充実させ、生徒の心身の健康を保持・増進させる。

⑦ 募集・広報活動

本校で学び活動する魅力を随時情報発信・公開、また地域に根ざした各交流活動を推進し、信頼される学校として、組織的な募集・広報活動を展開する。ホームページの更新数、アクセス数の増加、通信などの発行を通じて、情報発信に努める。また学校説明会、見学会、個別相談会において、常に工夫し、本校のPR活動を推進する。

5 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

① 学校経営・組織体制

取組目標	方策
組織の円滑な運営	<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議を中心とし、各分掌・学年間の連携を強化する。 ・全教員・全組織が報告・連絡・相談・調整を徹底する。
安心・安全な学校の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス事故、体罰等に関し、教職員が危機意識を高められるよう、年間3回以上の研修を実施する。
経営企画室の経営参画	<ul style="list-style-type: none"> ・教員との連携、協力体制を構築する。 ・予算の適切な執行、学校徴収金の管理や個人情報の取り扱いを適切に行うため、確認機能を強化する。
教職員のライフ・ワーク・バランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校における働き方改革の推進プラン」及び「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」に基づき、以下の取組を行う。 <ul style="list-style-type: none"> -会議時間の短縮(50分以内) -休暇促進月間の設定(7、8、12、1月) -多様な働き方の推進(時差勤務、部分休、長期休業中のテレワーク) -在校時間が基準値を超えた教員に対し、産業医面談を実施

② 学習指導

取組目標	方策
生徒の主体的・対話的で深い学びの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内で学び合いを取り入れた授業改善を組織的に行う。 ・読書を積極的に奨励し、生徒の知的好奇心を高め、教養の涵養、読解力の向上を図る。 ・一人一台端末、ICT 機器、Teams 等を活用し、個に応じた教育を推進する。
生徒の自学自習の習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習の状況や進学希望に応じて、長期休業期間等を活用した講習会や放課後の時間の活用により、学力向上と進路実現を支援する。

③ 進路指導

取組目標	方策
キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進路部を中心として、3年間を見通したキャリア教育を計画的に実施し、各学年と進路部の連携を深め、きめ細かな指導を行う。
進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試、就職試験合格に向けた講習を組織的・積極的に行うとともに外部模試を有効的に活用し、第一志望を諦めない生徒の姿勢を育成する。 ・放課後・土曜日・長期休業期間中の講習講座数については、施設改修下の中、現状維持の60講座を目指し、実力養成につなげる。
主権者教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教科・HR・委員会・行事を通じて、主権者教育を実施し、社会の形成者として求められる力を身に付けさせる。

④ 生活指導

取組目標	方策
規範意識の醸成と自己管理能力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導統一基準に基づき、挨拶励行、ルールを守ることなど、学校生活における基本的なマナーを適切に指導し、自律心を育成する。 ・はじめある生活習慣を確立させ、儀式や集会、日常の指導を通して、自己管理能力を定着させる。 ・校門指導等、駐輪指導を実施し、生徒に交通ルール、マナーを遵守させ、自転車事故根絶を図る。ヘルメットの着用を指導する。
いじめの予防、安全な学校生活の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策委員会の定期開催、生徒のいじめアンケート調査、全教職員による日常の観察や面接等において、いじめの未然防止を徹底し、早期発見・早期対応及び情報共有の組織体制を構築する。 ・自殺対策基本法等に基づき、命の尊さを学ばせるとともに、「SOSの出し方に関する教育」を実施するとともに、スクールカウンセラー・ユースソーシャルワーカー等を活用し、生徒一人ひとりの心の健康に対応できる相談体制を確立する。

⑤ 特別活動・部活動

取組目標	方策
学習と特別活動・部活動の両立の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と両立し、学校行事、委員会活動等に積極的に取り組ませ、生徒会及び各委員がそれぞれリーダーシップを発揮し、活力ある学校づくりを推進・指導する。
生徒の行事等への主体的な参加	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭、文化祭、合唱大会の3大行事を生徒が自主・自律の精神で主体的に運営できるよう、適切な指導・支援を行う。 ・外部のコンテスト等への参加を奨励し、該当生徒の更なる力を伸ばす指導を行う。（各種スピーチコンテスト、ビブリオバトル等） ・社会人として生きる意識・力を身に付けさせる一環として、地域における体験学習などを通して、異年齢や多様な人々と交流を深めさせる。
部活動のさらなる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間部活動を継続させる指導を行う。年度の途中入部の促進、勧誘等により、部活動加入者の増加を図る。 ・「部活動活動方針」に基づき、年度当初に1年間の部活動指導計画を作成し、目標達成に向けて意図的・計画的な指導を行う。 ・中学生対象の公開講座や合同練習を通じて異校種間交流、地域交流を深めるとともに、深川高校の部活動について積極的に発信する。

⑥ 国際理解教育

(Tokyo Metropolitan Global Education Network School Premier 20 (GE-NET20) 指定校)

取組目標	方策
使える英語力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 英語合宿の実施、英語4技能検定試験（STEP 英検他）を奨励し、英語活用能力の向上を図る。（外国語コースの生徒は高校3年間において英検2級以上取得を目指す。） JET、ALTの多様な活用、教員自身による最新英語指導法の研究に積極的に取り組む。
多文化共生社会への参画の意識醸成	<ul style="list-style-type: none"> 東京都次世代リーダー育成道場、自治体主催による長期・短期留学参加を支援する。 海外語学研修（オーストラリア）を実施し、多文化共生社会や世界の一員であることの意識を世界の課題へ視野を広げさせる。 修学旅行などを通じて、平和学習を継続し、人々のつながりを大切にし、世界平和に貢献できる人材を育成する。
日本の伝統・文化の発信	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統・文化の良さを理解させ（書道部、茶道部等）とともに、様々な国や地域の人々に発信することのできる人材を育成する。

⑦ 心身の健康づくりと安全教育

取組目標	方策
教育相談体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談委員会を年5回程度開催し、組織的に要配慮生徒の情報共有を図るシステムを構築する。 教育相談コーディネーター及び特別支援コーディネーターを中心に教職員、スクールカウンセラーが連携し、組織的な相談体制を充実させ、生徒の心身の健康を保持・増進させる。 心身の不調を理由に長期欠席する生徒へ積極的にサポートを行う。
心身の健康増進と安心・安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストの実施、体育、学校行事、部活動を通じて、1年時より生涯スポーツの精神を理解させ、3年間を計画的・系統的に指導し、運動技術、体力の向上、精神面の強化を図る。 薬物乱用防止教室、セーフティ教室、防災教育など生徒の生命、安全を守るための指導を徹底する。 学校保健委員会、安全衛生委員会を中心に、教職員、保護者、地域、関係機関との連携を強化し、生徒、教職員の心身の健康づくりを推進する。 美化週間を設け、施設の清掃活動の徹底、ゴミの分別・減量に努め、校内の美化・環境整備を推進する。

⑧ 募集・広報活動

取組目標	方策
組織的・積極的な募集活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> 学校見学会・説明会の内容の充実を図り、全ての教職員の協力の下、教育活や特色を広報する活動を行う。 中学校との連携を図り、授業公開、出前授業、学校見学・説明会、部活動体験入部等を充実させる。
ホームページによる情報発信及び地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの更新数、アクセス数を増やし、在校生、中学生及びその保護者、また地域の方々に適時、適切な発信を行う。 都立学校開放事業に基づき、校内施設の開放や公開講座を実施し、小中学生、地域との連携を深め、地域貢献を図る。

(2) 重点目標と方策

① 進路指導

- 進路決定率・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100%
- 国公立大学、早慶上理レベルの合格者数・・・・・・ 25名以上
- G M A R C Hレベルの大学・・・・・・・・・・・・ 100名以上
- 成成独国武明学レベルの大学・・・・・・・・・・・・ 50名以上
- 日東駒専レベルの大学・・・・・・・・・・・・ 200名以上
- 専門学校・公務員・就職内定率・・・・・・・・・・・・ 100%

② 部活動

- 部活動加入率・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80%
- 全国高校総体・総文祭出場・・・・・・・・・・・・ 1部
- 関東大会出場・・・・・・・・・・・・・・ 2部
- 東京都ベスト32相当以上・・・・・・・・・・・・ 5部

③ 生活指導

- 自転車等交通事故の件数・・・・・・・・・・・・ 0件
- セーフティ教室、薬物乱用防止教室、交通安全教室の実施、
担任による毎学期の個人面談・三者面談の実施

④ 教育相談体制

- 教育相談委員会・・・・・・・・・・・・・・ 毎5回以上開催
- 要配慮生徒等の情報共有体制の構築

⑤ 国際理解教育

- 国際交流実施回数・・・・・・・・・・・・・・ 5回以上
- 英語検定合格・・ 1級1名、準1級以上20名、2級250名
- 海外研修、英語合宿の内容の充実
- 次世代リーダー育成道場、各種コンテストへの積極的参加、海外留学の推進

⑥ 広報活動・募集対策活動の更なる充実を目指す。

- ホームページのアクセス数・・・・・・・・・・・・ 100万回以上
- 授業公開・学校説明会等の来場者数・・・・・・ 3,000名以上
- 部活動の公開講座の参加人数・・・・・・・・・・・・ 100名以上
- 地域ボランティアの地域での活動・・・・・・・・・・・・ 5回以上